【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和6年3月14日(2024.3.14)

【国際公開番号】WO2023/095837
【出願番号】特願2023-563728(P2023-563728)
【国際特許分類】
***Ｂ６０Ｃ 11/00(2006.01)***
***Ｂ６０Ｃ 1/00(2006.01)***
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｃ 11/00 B
Ｂ６０Ｃ 1/00 A
Ｂ６０Ｃ 11/00 D

【手続補正書】
【提出日】令和6年1月26日(2024.1.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１０】
液状ポリマーは、常温（２５℃）で液体状態のポリマーであれば特に限定されないが、例えば、液状ブタジエンゴム（液状ＢＲ）、液状スチレンブタジエンゴム（液状ＳＢＲ）、液状イソプレンゴム（液状ＩＲ）、液状スチレンイソプレンゴム（液状ＳＩＲ）、液状ファルネセンゴム等が挙げられ、液状ＢＲおよび／または液状ＳＢＲが好適に用いられる。これらの液状ポリマーは、１種単独で用いてもよく、２種以上を併用してもよい。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１３】
第一層２を構成するゴム組成物のゴム成分１００質量部に対する液状ポリマーの含有量は、１．０質量部以上が好ましく、３．０質量部以上がより好ましく、５．０質量部以上がさらに好ましく、７．０質量部以上が特に好ましい。また、液状ポリマーの含有量は、５０質量部以下が好ましく、４０質量部以下がより好ましく、３０質量部以下がさらに好ましく、２０質量部以下が特に好ましい。なお、第二層３を構成するゴム組成物のゴム成分１００質量部に対する液状ポリマーの含有量は特に制限されない。